

# わたりだ

渡田小学校教育目標  
やる気いっぱい  
笑顔いっぱい  
元気いっぱい  
川崎市立渡田小学校

2024. 10. 1

## 心を育てる

学校長 楠田 典子

「暑さ寒さも彼岸まで」とは、昔から語り継がれているフレーズですが、地球温暖化による異常気象が続いている現在でも通用するのだと、驚かされました。9月24日の朝窓を開けると、高原に来たかのようなひんやりした風を感じました。8月の初旬からクーラーが壊れたままの校長室ですが、汗をかきながら仕事をするのも、もう終わりかと思うとホッとします。25日からは3日間、5年生と自然教室でハケ岳を訪れましたが、厚手のジャケットを持って行って正解でした。

さて、暑かった9月ですが、渡田小では様々なイベントが行われました。各学年のイベントは日頃、学校HPの「ザウルスズルーム」というコーナーでも紹介していますが、今回この学校だよりでお伝えするのは、17日に行われた第1回ミニコンサートと、18日に2,4,6年生によって行われた音楽集会、そして5年生の稲刈り、脱穀の様子です。

ミニコンサートは音楽集会が企画したイベントで、皆に聴かせたい自分の歌や楽器演奏を体育館で披露するというものです。中休みという限られた時間内に行われるので、あまりたくさんのグループや個人の発表はできません。でもたくさんの応募者があり、音楽委員会の子どもたちによる厳正な(!!)審査の元に厳選された9つの個人・グループに、2回に分かれて演奏を披露してもらうことになりました。この日は第1回目でしたが、出演する児童の保護者の方も暑い中体育館に駆けつけてくださり、応援してくださいました。どの児童も真剣な面持ちで演奏していましたが、発表が終わった後の満足そうな表情が印象的でした。また、それを聴きに来ている子どもたちも、どんな演奏が行われるか楽しみにしている様子がうかがえ、演奏する側も聴く側も、音楽を楽しんでいることが伝わってきました。2回目は10月8日に予定されています。

音楽集会は、1,3,5年、2,4,6年の3学年が体育館に集まり、一緒に今月の歌を歌ったり、各学年の発表を聴いたりする活動です。年に6回企画され、今回は2回目で、2,4年生が聴く中、6年生が合唱を披露しました。この集会に向けて練習を重ねた成果を十分に発揮した、素晴らしい歌声に、聞いていた下級生もうっとりしていました。このイベントにも、朝早くにもかかわらずたくさんの保護者の方が参加してくださいさり、子どもたちにエールを送ってくださいました。

5年生は社会科で、米作りを通して日本の農業について学びます。そこで渡田小では、渡っ子ファームの脇にある田んぼを利用し、鈴木さんをはじめとする畑ボランティアの皆さんの全面的なご協力のもと、毎年米作りを行っています。田植えするときのドロツとした土の感触、稲刈りの時の鎌でザクッと切るときの音、足踏みの脱穀機によってみるみる間に稲の実の部分だけがこすり取られていく様子、どれも実際に体験することでしか味わえないものです。そして何よりも、このような作業が何百年もの間、この渡田の地で先祖代々行われてきた上に今の自分たちの生活があるのだということを知ることが、子どもたちにとって大切だと、私は思っています。

まもなく「のびゆくすがた」で、子どもたちの前期の頑張りをお伝えしますが、そこにあらわされた成績の基には、ここで紹介した活動などを通して育てられた「心」がある、と私たちは考えています。そして子どもたちの心を育てる活動を、これからも大切にしていきたいと思えます。